

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月7日更新

事務事業名		熊本県観光連盟参画事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	産業振興部	課長名	古荘 一也
	施策	22	歴史・伝統・文化を活かした郷土愛の醸成			所属課	商工振興課	担当者名	渡辺 良輔
	基本事業	77	歴史・伝統・文化に触れる機会の提供			所属班	商工・企業誘致班	(内線)	1272
予算科目		会計一般	款7	項1	目2	事業連番10922	法令根拠	成果優先度評価結果：⑫ コスト削減優先度評価結果：⑥	
終了、開始年度		<input checked="" type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	観光資源情報の入手や、他団体との観光振興の連携を行なう事業。熊本県観光推進協議会及び熊本県観光連盟の設立に伴い市町村の取組みが始まった。昭和38年観光基本法と平成19年1月観光立国推進基本法
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	負担金の請求書受付、支払、連盟からの調査依頼に伴う回答、観光連盟主催の事業(総会、研修会)に参加、観光連盟より観光イベント情報等の提供を受ける。
【主な予算費目】	負担金
【意見や要望】	特になし
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)	研修会・講習会への参加、観光連盟の調査への回答及び合志市の情報提供、負担金の支出	23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 22年度より【商工観光調整事務・11282】へ統合し事業を展開していく
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
→ ア 観光連盟の研修会、講習会の開催回数	回	
→ イ 合志市の情報提供回数	回	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	熊本県観光連盟	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 社
		→ ア 観光連盟加盟団体数
		→ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	スムーズな運営を図ることができる。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) 人
		→ ア 観光連盟主催事業への出席数
		→ イ
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠 22年度より【商工観光調整事務】へ統合する。		

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込
① 活動指標	ア 回		5	5	5	5	0	0	0
	イ 回		10	10	10	10	0	0	0
② 対象指標	ア 社		250	250	250	250	0	0	0
	イ								
③ 成果指標	ア 人		5	5	5	5	0	0	0
	イ								
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	150	150				
	(A) 事業費計	千円	150	150	0	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	3	3	2	0	0
延べ業務時間		時間	12	22	22	6	0	0	
	(B)人件費計	千円	48	87	87	24	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	198	237	87	24	0	0	

総トータルコスト
全体計画
～
年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	熊本県観光連盟参画事業	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した 22年度より【11282商工観光調整事務】へ統合のため廃止	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他の方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

22年度より【11282商工観光調整事務】へ統合のため廃止

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)
事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)
現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

22年度より【11282商工観光調整事務】へ統合のため廃止

(2) 改革・改善による期待成果
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策